

先 取 社
東京本社 東京都千代田区
神田駿河台3の2
東京ビル内 (251) 7213
大阪支社 大阪市福島区
洲上3の3 土質ビル内
(458) 0235
京都支社 京都市左京区下
鴨宮崎町128の29
振替 東京64937
編集発行人 正木 真一

すべての工場、地域、学園に
共産主義者同盟を
組織せよ！
共産主義者同盟統一委員会

右傾化・官僚化に抗し

職場に闘う「労研」「社研」を

総評
議長

堀井就任の意味するもの

組織的には合気労連下の各組の加盟、企業合併にともなう造船
合における右派幹部の進出による に見られる第二組合の結成、企業
指導権の確立、東洋高圧労組の結成、連合による労使協同路線の強化
評脱退、鉄鋼労連のIMFICへ、日産、プリンスの合併に見られる
の組織的弱体化などの現実、民間

構改派をして、二、三年反木田連
勤の展開から一定の理論的対決へ
と進展させた。六四年春闘、四・
一七をめぐる電通民同による春闘
大田、堀井批判は外見には組織
運営のあり方を問題としていたが
その本質は全電連長期運動方針に
具体的を示された運動路線の立場
に立った、春闘方式、産業別統一
闘争の変遷である。反合理化
闘争の放棄を問題としたのであ
る。

総評第二回大会が新指導部と
して堀井就任を議長として乗出し
堀井・岩井ラインを形成した、こ
の成行から一きよに全労との統
一および、宝樹全通委員長が指
示しているといわれる、西独DGB
に代表される西欧型労働組合路線
の労使協同・資本主義協力路線
に転換するとは考えられない。
何故なら戦後階級闘争の試練を
受けた日本の労働者階級の連
帯の功績と特殊な日本資本主義の
労働の階級闘争の歴史が労働組
合の目標とされている。賃金問題
では人事院、公務労等第三者機関
を「団交の延長、労使の力関係と
社会的責任の追求の場」と美化し
てきた。

この日本労働運動の危機、加
入に資本攻勢の激化、われわれ
は、今こそ、全力をあげて、下
の闘いと組織を準備しなければ
ならない。それはすでに、われ
れが何回も繰り返している通り、
青年部活動を軸に闘争を横に
広げ、かつ、闘争運動の中核
「労研」「社研」を組織していく
ことである。

プロレタリア通信

ガードマンなる暴力団
東京南部、全金闘争の中から
全金労働者 杉原 雄三

我々は全金闘争下の労働者で
装束を脱ぎ生かした。
こうした暴力団を背景に会社
側は今次春闘前夜、奴隷扱いの就
業規則を一方的におしつけてき
た。組合はこれに反対し構内マ
ン時限ストを組織した。だが決定的
な抗争行動はならず四度わたる
のぶがいなさの二つの例として
よい。三年前同盟の組合分裂工
作に組合は一分をよきなく第二
組合は全金同盟に加入していつ
に組合は一分をよきなく第二
組合は全金同盟に加入していつ
に組合は一分をよきなく第二

こうして悪質な攻撃は第一組合
十余名の離脱を必然ならしめた。
全金前中支青年部はこうした離
脱を真剣に総括し青年部は職場生
産点での徹底抗争を決定し長期ス
トの体制を強め六月二十九日か
ラストに入突した。それは全金各
部にはみられない前中支部組合員
の自分達で考えた、自分達の闘争
方針であった。会社側はスト突入
後五日をたたくしてロックアウト
を宣言してきた。バリエード
を破って入ろうとする青年部と全
金指導部の方針は対立している。
日本ロールのみじめな敗北は全
金指導部の日共スタイルに起因す
る所が多い。われわれ支部は単に
前中支部だけの問題ではないとい
う観点から執行部をつき上げ職員
を勝ち取ってきた。それゆえま
の闘争とロックアウト後の闘争は
支援の方針のちがいが意味した。
そうした問題意識がわが支部には
影響を及ぼすまでであった。

前中支部へのガードマン導入と
同時に、前中近隣労組四支部への
ガードマン導入は新たな全金労働
者への資本の攻撃である。われ
われ支部にもガードマン
し入れが同時期にあ
組合分裂、暴力団
小企業にかけ
日毎の闘
を闘う。

前進派の腐敗を衝く

反スターリン主義の課題とは
われわれの内なるスターリン主
義の克服をともなうものでな
ければならない。前進におい
ればならぬ。前進におい
ればならぬ。前進におい
ればならぬ。前進におい

用語の乱用ではなく

内容の提示を

プリントを清算しないために

党建設 について

前進派の腐敗を衝く
われわれの内なるスターリン主
義の克服をともなうものでな
ければならない。前進におい
ればならぬ。前進におい
ればならぬ。前進におい
ればならぬ。前進におい

党建設をいうだけでは、なんの
役にも立ちほしないのだ。
前進派の諸君が党建設の問題
をいとも安易に「社研にかわ
る」といって、前進派の諸君は「真
の闘争を闘う」といって、前進派
の諸君は「真の闘争を闘う」とい
って、前進派の諸君は「真の闘争
を闘う」といって、前進派の諸君
は「真の闘争を闘う」といって、
前進派の諸君は「真の闘争を闘
う」といって、前進派の諸君は
「真の闘争を闘う」といって、前
進派の諸君は「真の闘争を闘う
」と

我々は共産主義者同盟の強
しから、さらに前進派の
ある。同盟統一再建派の
一つの指標である。(正木)

脆弱性はらんだ 景気回復

引きのばされた危機 41年度経済白書によせて

例年通り、経済白書が発表された。例年通り、経済白書が発表された。例年通り、経済白書が発表された。

「持続的成長への道」と題する今年度の白書は、構成二部に分かれ、I部が、景気の現状規定、II部が持続的成長のための条件を定めておられる。

白書は、今年で二〇回を数えたというが、最近とくに感じられることは、その内容のあいまいさ、退屈である。

この「景気回復をリードしている」要素は、在庫投資、財政支出の輸出であった。今後、順調に好況局面に上昇していくので、たしかに、日本資本主義は、今年に入って少くも景気回復に向かっていることは事実であり、それが、米資本主義の好況・ベトナム特需による輸出増進と、財政支出によることも事実である。

第二次共産主義者同盟建設のために

共産主義者同盟建設の基盤。安福闘争を最も精神的に闘った共産主義者同盟をもった弱肉の克服と、真のプロレタリアートの前衛として再生せんとする試みは、全国的に、長期にわたって追求された。このような努力を支えたものは、安福闘争を闘った日本のプロレタリアートと人民にあって、この取組をこえて、真の革命闘争にすすむために、安福闘争の総括をもつて決定的である。

このような基盤は、裏をかえせば、今日のプロレタリアートの状態が、いかなる平和的、あるいは安定的な受けかきをもたずして、常に資本主義制度の根底的な、革命的な対立にすすまざるを得ないという現実である。

ブルジョア階級の事業と

階級的ヘゲモニーの確立

しかし、これらについては、ブルジョア階級の報告ゆえ、あたりまえ(？)のこと、それに、そもそも、官庁経済学に鋭い分析を要求するのは、高層というものであろう。

さて、白書は、六四年半ばから進行した不況は、「在庫調整を始発する短期循環的性格と、昭和三五―三六年のプーシに対する

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

機関紙先駆も、次号で発行三〇号となり、この間、読者諸氏の支援をよび各分局の奮闘により、配布網を拡充してきました。

滞納紙代の即時納入、定期購読を訴える。滞納紙代の即時納入、定期購読を訴える。滞納紙代の即時納入、定期購読を訴える。

滞納紙代の即時納入、定期購読を訴える。滞納紙代の即時納入、定期購読を訴える。滞納紙代の即時納入、定期購読を訴える。

機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。

機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。

機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。

機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。

機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。

機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。

機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。機関紙経路局。

回復せず、財政面からの需要の補給が必要であったこと。回復せず、財政面からの需要の補給が必要であったこと。回復せず、財政面からの需要の補給が必要であったこと。

回復せず、財政面からの需要の補給が必要であったこと。回復せず、財政面からの需要の補給が必要であったこと。回復せず、財政面からの需要の補給が必要であったこと。

回復せず、財政面からの需要の補給が必要であったこと。回復せず、財政面からの需要の補給が必要であったこと。回復せず、財政面からの需要の補給が必要であったこと。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。

ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。ブルジョア階級の事業と階級的ヘゲモニーの確立。